

# 秋季年末闘争で反動攻撃をうち破れ!



81.10.24  
No.877

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二九三五(六)公衆電話 四三三(二)七二〇七

日本帝国主義の軍事大団化・改憲攻撃は急ピッチで展開され、それは労働運動に対しても抑圧と分断、合理化、首切り、労働強化、低賃金攻撃として激化しています。

**三里塚・反戦闘争と固く結合し、反合、生活権利防衛闘争の勝利をかちとろう**

労働戦線「統一」、35万人体制合理化、仲裁々定と人事院勧告未実施という一連の攻撃と、指導部の屈服と裏切りという事態に、今や労働者人民の怒りは爆発寸前の状況にあります。

我々は、こうした現状を正しくとらえ、闘う方向へ組織化すること、すなわち今秋季年末闘争を、反行革・35万人体制粉碎・木原線廃止反対・仲裁々定人事院勧告完全実施

## 1 仲裁々定無条件完全実施を叩こう

政府、自民党は財政的危耗からの脱却を声高に叫びながら「行財政改革」の名のもとにカニ臨調をつくり、その答申をもって官公労労働者への要員合理化、低賃金政策を押しつけ、仲裁々定実施を予算がないとして議決案件にし、人事院勧告未実施をもって攻撃のホコ先を官公労労働運動にむけてきています。

そして今日では、仲裁々定だけは実施できるかのようになり、公労協と公務員を分断する攻撃に出る一方で、国鉄と林野は、赤字を理由に差(付帯条件)をつける事によって、公労協内部の分裂をも策動しています。

我々は仲裁実施について「国鉄再建に努力する」と

か、「年末手当、仲裁実施時期延長」等の付帯決議を

## 2

### 検修民託反対・木原線廃止にむけた地方協議会の設置を許すな

国鉄35万人体制合理化攻撃は、戦場的労働運動の拠点、国鉄労働運動を解体し、反合闘争をはじめ職場抵抗闘争で叩いてきた一切の労働慣行と既得権を奪いとり、労働強化と低賃金のもとに押さえこみ、軍事大団化、侵略戦争体制にくみこもうとする攻撃であります。

今日、全国的に検修民託化による一万人合理化を中心として攻撃をかけ、千葉局においても小名木川操の入換とフロント業務の民託化、13駅の民託化攻撃の動向が

絶対に許さず、あくまで完全実施を要求して叩く必要があります。

あり、更に木原線廃止にむけて「地方協議会」設置がなされようとしています。国労、動労「本部」が35万人体制攻撃に屈服し、次々と合理化を認めてしまっている現状、とりわけ動労「本部」反動分子が合理化の尖兵と化している中で、我々は35万人体制合理化に反対して叩き、地域住民、他労組、地区労等と連携をとり、木原線廃止のための地方協議会設置反対を叩く必要があります。

(裏に続く)

10.27

「本部」反動分子によるデッチあげ『6.12津田沼事件』カニ一回公判

総力で結集しよう  
12時30分千裁正内前集合